

## 株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年3月開催

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-232-711 (通話料無料)

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 市場第一部

公 告 方 法 公告掲載URL <http://www.sbs-group.co.jp/>

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に  
公告いたします。

### 【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# SBSビジネスレポート

2016年12月期 第2四半期株主通信  
2016年1月1日～2016年6月30日 証券コード:2384

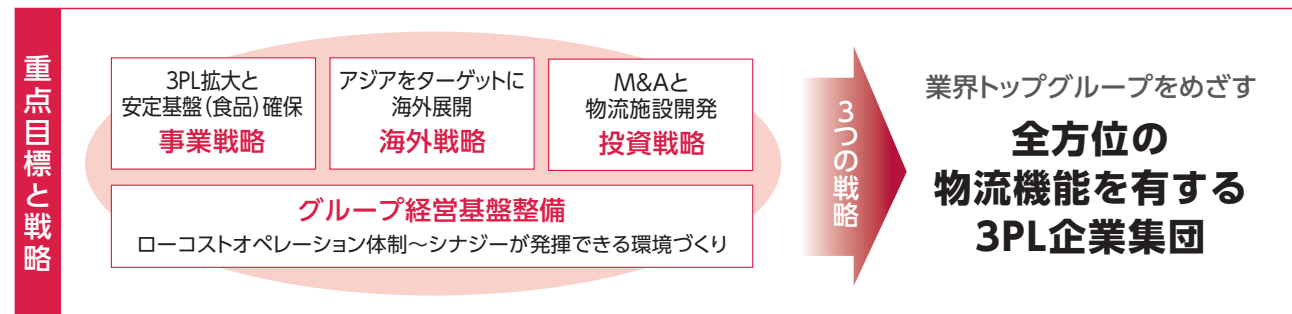
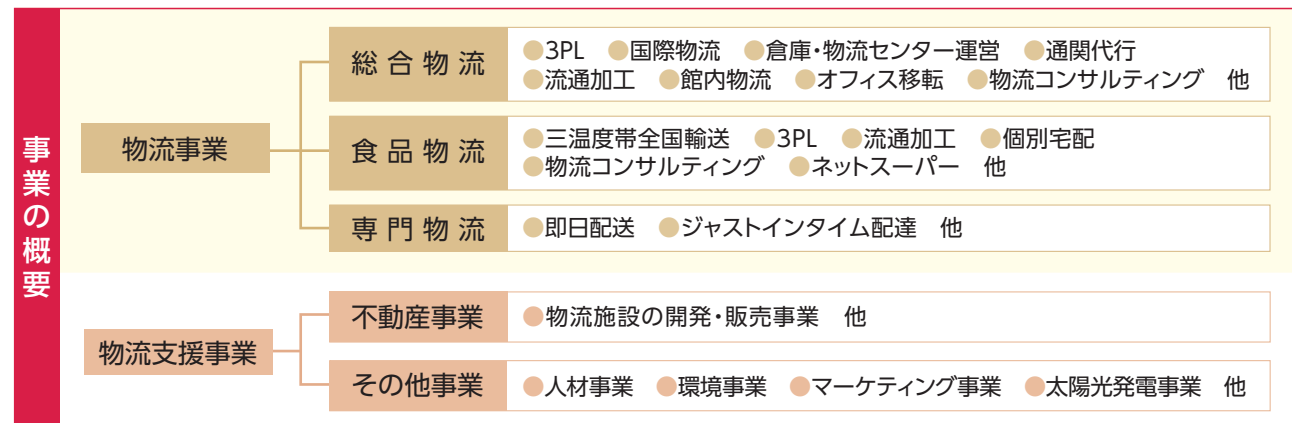
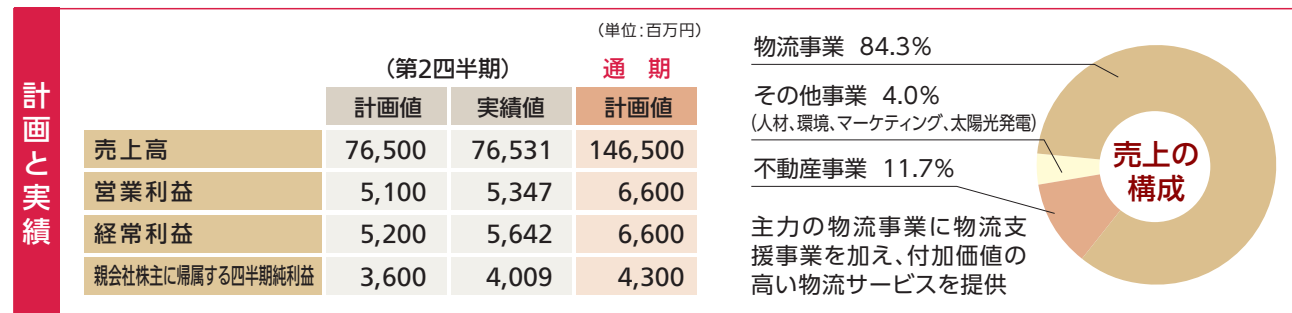
## 特集

SBSグループの未来をつくる  
「人材育成」

## INDEX

ビジネスハイライト	01
社長メッセージ	02
特集	03
ハイライト	05
トピックス	06
連結業績	07
会社概要&株式の状況	10

SBSグループは、あらゆる物流ニーズに優れた品質でお応えします



※本レポートの将来の見通しに係る記述には、現時点で入手可能な情報に加え一部将来の業績に影響を与える不確定な要素も含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2016年12月期、  
V字回復の足掛かりとなった  
上半期でした

代表取締役社長 鎌田 正彦



SBSグループでは、前期に行ったインド海外子会社の損失処理に伴う影響からのV字回復を最優先課題に掲げ、総力を尽くし事業に取り組みました。

物流事業における上半期最大の取り組みは、過去最大規模となる約5万坪の新拠点立上げでした。現在、既存拠点の統廃合や業務の一部移管も含め全て計画どおりに稼働しております。下期以降につきましては、これら現場の安定稼働と作業効率化を早期に実現し利益率の向上を図ってまいります。

不動産事業では、2月に横浜市磯子区にマルチテナント型の物流センター(1万2千坪)、続いて3月に所沢市に大手百貨店向け専用物流施設(9千坪)が竣工し、新たな大型投資が完了いたしました。また、SBSロジコムの大規模3PL拠点である川越物流センターの売却を当初計画より前倒しし、投資資金の

回収とバランスシートの改善を進めました。その他事業では、総発電能力10メガワットを超えた太陽光発電事業が順調に売上を伸ばし、加えて、市場規模の拡大に伴いEC関連のマーケティング事業が売上・利益共に伸長しております。

前期は最終赤字や期末配当の見送りなど、株主の皆様にご多大なご心配とご迷惑をお掛けいたしました。お陰様でこの上期はV字回復への足掛かりとなる業績を達成することができました。また、3月末を基準とした四半期配当も行い、遅ればせながら利益還元をさせていただきました。

当期は最優先課題であるV字回復を確実に達成することで、株主の皆様のご期待に応えてまいります。今後も末永くSBSグループをご支援賜りますようお願い申し上げます。

# SBSグループの未来をつくる「人材育成」

M&Aや企業再編は、SBSグループにとって欠かすことのできない成長のレバレッジです。これは既存組織の枠組みを大きく変革するため、従業員一人ひとりに高度な「変化対応力」が求められます。SBSグループでは、様々な強みを持ったグループ企業のシナジー効果を創出することを目的に、教育研修の場を積極的に活用しています。従業員が組織の枠を超えて“学びの場”を共有することで、異なる文化を尊重し、ナレッジの共有や互いに切磋琢磨する風土を醸成しています。

## SBSグループ 教育研修実施データ

※2015年実施分

◆プログラム数・・・38

◆実施回数・・・54回

◆のべ日数・・・72日

◆受講者数・・・1,623名

## ■ 安全と品質を守る／物流品質管理部

SBSグループは、複数の運送事業者で構成される集合体です。これらを取りまとめ、グループ全体の物流品質の標準化、運輸安全体制の確立、輸送の安全確保を担っているのが、SBSホールディングスの「物流品質管理部」。車両や運行に関する安全管理業務に加えて、安全運転・エコドライブなどの教育・啓発活動を実施しています。

### 1 基本の徹底を伝え続け、 広い視野で理解を促す

物流品質管理部長 稲葉宗和



安全確保は、私たちひとり一人が当事者意識を持つことが何より大切です。そのためには、基本の徹底を常に伝え続ける人材を育成すること、そして地域社会など広い視野から自身の業務を捉え物流のプロ集団として自信と誇りを醸成することが重要であると考えています。

### 2 エコ安全研修

環境問題と省エネへの理解や意識向上を目的に、1日型と2日型の研修を年2回ずつ実施。座学と実技を合わせた実践的で専門性の高い研修。OJTで行う「手書燃費※」と両輪でエコドライブを推進しています。

※ドライバーが走行管理表などを用いて自ら行う日々の燃費管理のこと。



### 3 SBSグループドライバーコンテストプレ大会

今秋、SBSグループとしてドライバーコンテストを初めて開催します。その前哨戦としてプレ大会を昨年実施しました。高いモラルと技術・専門知識を持つドライバーの育成を目指します。



### 4 SBSゼンツウ社内ドライバーコンテスト

SBSゼンツウでは、2年前からドラコンを社内開催。ドライバーを主役にお客様とともに職場全体が盛り上がり、運営事務局や応援団など毎回100名以上が参加する一大イベントとして定着しています。



### 5 物流品質セミナー

運輸安全マネジメントに関わる一般管理職を対象に年3回、約450名を対象に実施。運行・労務、リスク管理などの法令・規定を常にキャッチアップし安全・安心な事業運営を目指します。



### 6 組織と個人の成長を リンクさせることが、 組織内人材育成の基本

人事部研修課長 菅原 貞真



2016年度の教育研修テーマは「意識変革を促し行動変化につながる社内教育」。約900名が階層別、テーマ別の研修に参加する計画です。研修で気づき学んだことを活かし、成果を通じて組織貢献していることを、研修参加者だけでなく彼らの職場全体で実感して欲しいですね。

### 7 新入社員研修

グループ各社の新入社員が約2週間の基礎研修を受講し、SBSグループの同期として絆を深めます。入社3～4年目の先輩社員に熱心に質問する新入社員たち。



### 8 次世代物流センター長研修

選抜された次期センター長候補のためのプログラム。現場演習を含め、延べ5日間にわたって、様々なアウトプットが要求されます。



### 9 管理職基礎研修

新任管理職全員が対象。SBSグループを牽引する原動力として、1泊2日でマネジメントの基礎を学び、グループ各社で討論を交わします。



### 10 監督職基礎研修

各グループ会社からの研修参加者は、ほとんどが初対面。研修のスタートは、名刺交換から。



2015年、金融庁と東京証券取引所による「コーポレートガバナンス・コード」が施行されました。コーポレートガバナンスを取り巻く環境とそれに対する当社グループの取り組みについてご紹介します。

### ■ 関心が高まっているコーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスは、企業統治と訳されます。経営者や役員が経営に関する意思決定が、企業の今後の成長にプラスに働くものであるように、管理や統制する仕組みのことで。近年、色々と話題になっているように、未成熟な統治のまま、利益や私利私欲のためだけに経営が行われることで、業績悪化や株価の下落などを招くことがあります。そのようなことにならないよう、経営がうまく機能しているか監視し統治することは重要であり、コーポレートガバナンスの果たす役割です。

### ■ 企業が取り組むべき規範を網羅したコーポレートガバナンス・コード

コーポレートガバナンス・コードとは、企業の持続的な成長と企業価値向上のために、企業自身が取り組むべき規範を網羅したものです。株主の権利、取締役会の役割など上場企業が守るべき行動を示した規範であり、投資家や株主の皆様との対話の拠り所となるものです。

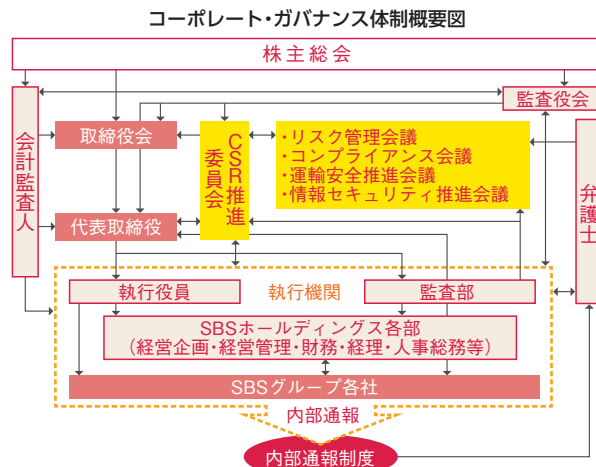
SBSグループは2016年4月、コーポレートガバナンス・コードに基づく「コーポレートガバナンス報告書」を提出すると共に、7月にはコーポレートガバナンスに関する基本的な枠組みおよび考え方を「SBSホールディングス コーポレートガバナンス・ガイドライン」として取り纏め、制定しました。

- コーポレートガバナンス報告書 [http://www.sbs-group.co.jp/hdg/pdf/hdg\\_corporategovernance\\_160801.pdf](http://www.sbs-group.co.jp/hdg/pdf/hdg_corporategovernance_160801.pdf)
- コーポレートガバナンス・ガイドライン [http://www.sbs-group.co.jp/hdg/pdf/hdg\\_cg\\_guideline\\_160715.pdf](http://www.sbs-group.co.jp/hdg/pdf/hdg_cg_guideline_160715.pdf)

### ■ SBSグループのコーポレートガバナンス体制

SBSグループは、監査役会設置会社制度を採用し、取締役会が経営の重要な意思決定及び業務執行の監督を行うとともに、取締役会から独立した監査役及び監査役会が、厳格な適法性監査を実施しています。また、取締役会に複数名の社外取締役を設置することでモニタリング機能を強化するとともに、執行役員制度を採用し執行責任の明確化と権限移譲を行い、機動的な業務執行体制を構築しています。

SBSグループは、当社グループを取り巻くすべてのステークホルダーから信頼され続けるとともに、社会に貢献できる企業を目指すために、経営の透明性及健全性に加え、社会倫理と法令遵守に基づいて行動する企業風土を醸成し堅持するための体制作りを進めています。



### 🏆 第1回社会貢献活動表彰を実施

(SBSグループ)

1月

「社会貢献活動表彰」は、従業員の社会貢献意識の醸成と活動の活性化を図るため平成27年度に創設、第一回目の表彰式を行いました。日本レコードセンター、SBSロジコムの吉川支店・君津支店・戸田橋支店、マーケティングパートナーの5団体を表彰しました。



### 🚗 「東急プラザ銀座」の館内物流を開始

(SBSロジコム)

2月

東急不動産株式会社様が開発・運営する大型商業施設「東急プラザ銀座」の館内物流業務を受託。要員教育や近隣施設、搬入車両の調整、テナント様の出店準備作業を経て、3月31日のグランドオープンを迎えました。



### 🏢 3PLサービス専用「新杉田センター」を開設

(SBSフレイトサービス)

2月

広域物流を手がけるSBSフレイトサービスは、横浜市磯子区に本社を移転し、同社初の3PLサービス専用「新杉田センター」を開設。当センターでは、音響機器メーカー様、幼児向け教育関連企業様などからの受託業務を行います。



### 🏠 加勢と合併会社を設立し、阪神地区配送事業へ進出

(SBS即配サポート)

4月

株式会社加勢との共同出資によりSBS即配西日本を3月18日に設立。4月1日から阪神地区での配送事業を開始しました。大阪市、神戸市に拠点を設け、阪神地区におけるチャーター便による輸配送業務をスタートしました。



### 👤 管理・監督職向けハラスメント研修を開催

(SBSグループ)

5月

全ての従業員が働きやすい職場環境を実現するため、グループ各社の管理・監督職者を対象にしたハラスメント研修を開催しました。またパワハラ防止ポスターを全事業所に掲示し、全従業員へのコンプライアンスの理解と意識浸透に取り組んでいます。



### 🐕 日本初！特別食事療法食「SANIMED(サニメド)」発売開始

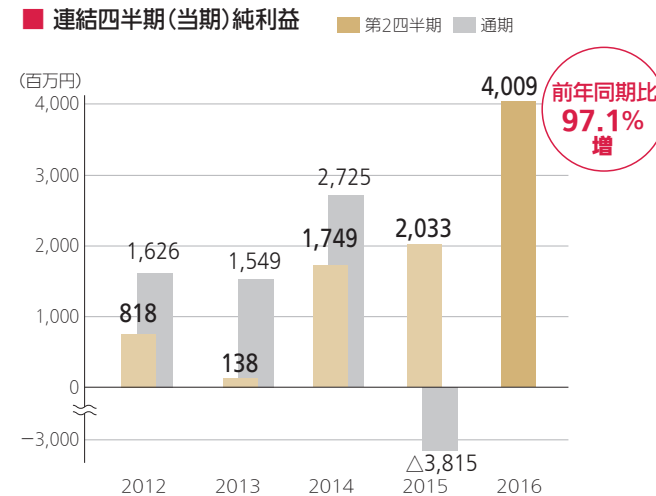
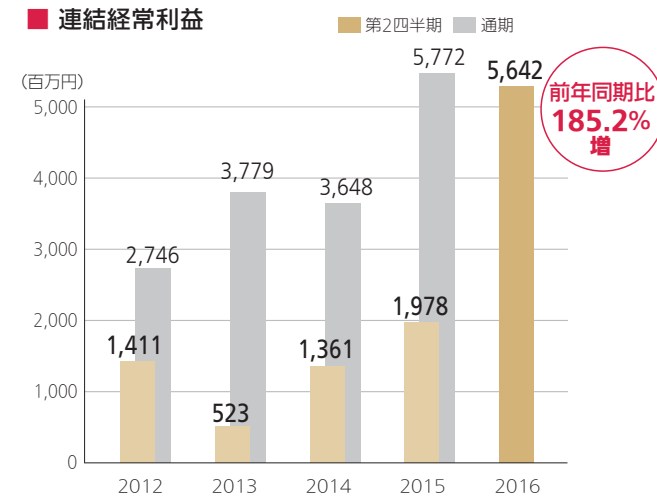
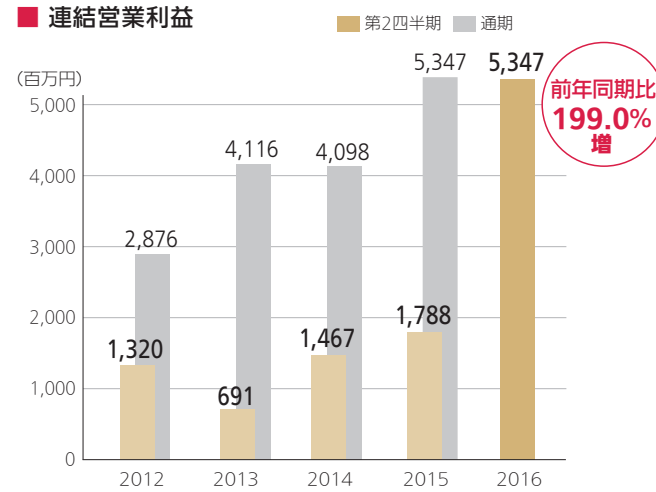
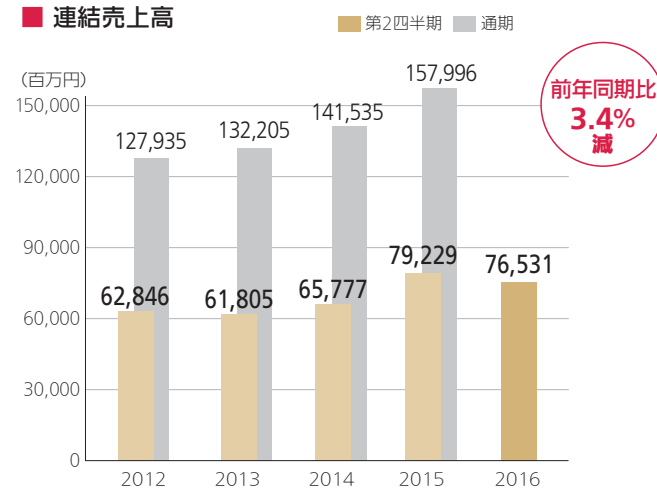
(グローバル ペット ニュートリション)

6月

オランダのボブラ・スペシャル・ペットフーズ社と日本輸入総販売契約を締結。皮膚疾患や慢性腎臓病といった疾病別に開発された同社の特別食事療法食「SANIMED(サニメド)」を、動物病院専売品として日本で初めて販売を開始しました。



前連結会計年度のインド事業会社の損失処理にともなう影響からのV字回復を最優先課題にかかげ、グループ丸となって取り組みました。事業戦略としてトータル面積5万坪、過去最大規模となる物流拠点の立上げに注力する一方、海外事業基盤の再構築に取り組みました。

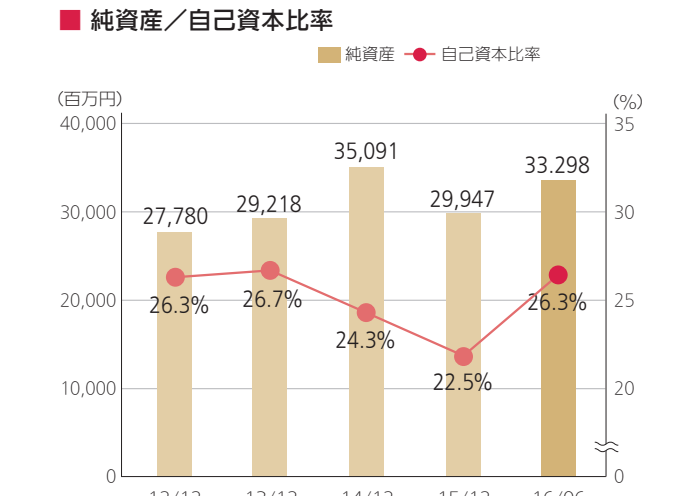
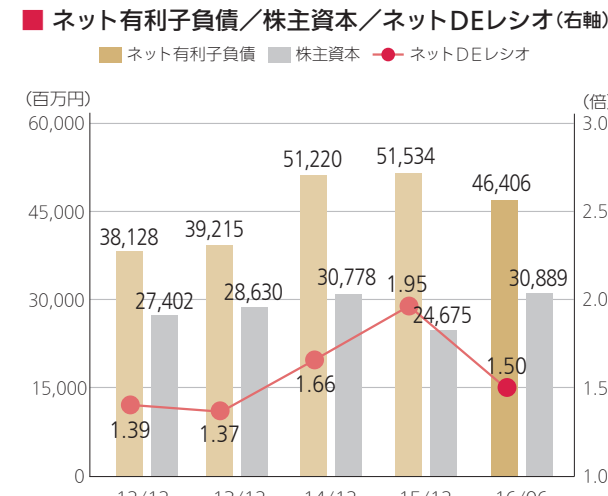


[セグメント別概要]

(単位:百万円)

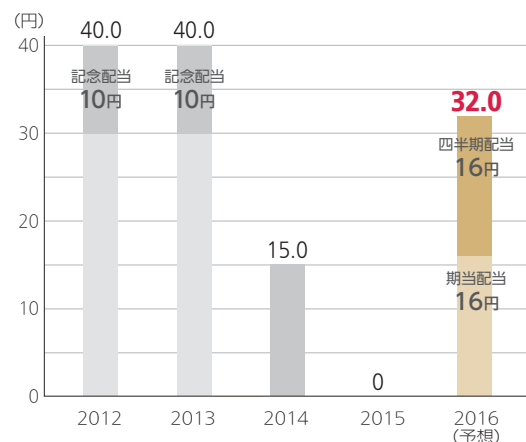
	2016年第2四半期		2015年第2四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
物流事業	64,562	916	73,810	973
不動産事業	8,935	4,390	2,510	805
その他事業	3,034	172	2,908	125
調整後合計	76,531	5,347	79,229	1,788

- **物流事業**：売上高は、国内は市場の荷動鈍化を業務拡大でカバーし増加したものの海外子会社の連結除外により、全体では減少しました。営業利益は、燃料価格の低下や値上げ効果、海外子会社ののれん負担の減少などのプラス要素がありましたが、物流拠点の立上げ費用を補うまでにはいたらず減益となりました。
- **不動産事業**：販売用不動産として保有していた川越物流センターの売却を当初計画の第3四半期から第2四半期に前倒しした影響により、売上高、営業利益とも大幅に増加しました。
- **その他事業**：マーケティング事業等が堅調に推移したほか、太陽光発電事業の規模拡大が貢献したことで、売上高、営業利益ともに増加しました。



※ネット有利子負債=長期・短期借入金+社債-現預金  
 ※ネットDEレシオ=ネット有利子負債÷株主資本

■ 配当金の推移



※2014年6月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。  
 ※2012年の記念配当は、東京証券取引所市場第二部への上場を記念して実施したものです。  
 ※2013年の記念配当は、東京証券取引所市場第一部への上場を記念して実施したものです。

■ 利益配分に関する基本方針

SBSグループは、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策のひとつと位置付け、より強固な経営基盤の構築のために内部留保の充実を図るとともに、継続的な配当維持と業績に応じた配当水準の向上に努めることを利益配分に関する基本方針としています。

2016年12月期の配当につきましては、通常の期末配当として1株当たりの配当金16円を予定しております。なお、今期に限り、2016年3月31日を基準日とする四半期配当として1株当たり16円の配当を実施いたしました。

当期(2016年12月期)の連結業績予想

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (Forecast)



■ セグメント別

(単位: 百万円)

	物流	不動産	その他	調整後合計
売上高	129,950	10,350	6,200	146,500
増減率	△9.4%	19.8%	4.0%	△7.3%
営業利益	1,530	5,070	300	6,600
増減率	△26.2%	54.0%	26.1%	23.4%
営業利益率	1.2%	49.0%	4.8%	4.5%

※予想値は、2016年5月25日に修正いたしました。

■ 会社概要

社名 SBSホールディングス株式会社  
 代表取締役 鎌田 正彦  
 創立 1987年12月16日  
 資本金 39億1,821万円  
 売上高 1,579億円(連結) ※2015年12月31日  
 所在地 〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3  
 TEL: 03-3829-2222 (代表)  
 FAX: 03-3829-2822

事業内容 物流事業、不動産事業、マーケティング事業、人材事業 他



■ 役員

代表取締役 鎌田 正彦  
 常務取締役 入山 賢一  
 取締役 杉野 泰治  
 取締役 渡邊 誠  
 取締役 岩崎 二郎  
 取締役 関本 哲也  
 常勤監査役 山下 泰博  
 監査役 正松本 重孝  
 監査役 竹田 正人

※取締役のうち、岩崎二郎、関本哲也は社外取締役です。  
 ※監査役のうち、正松本重孝、竹田正人は社外監査役です。

■ 株式の状況

発行可能株式総数 154,705,200株  
 発行済株式の総数 39,718,200株  
 単元株制度の有無 有(100株)  
 株主数 4,630名

■ 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率(%)
鎌田正彦	14,888,400	37.48%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,923,500	9.87%
SBSホールディングス従業員持ち株会	1,553,600	3.91%
特定有価証券信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	1,200,000	3.02%
東武プロパティーズ株式会社	954,800	2.40%
大内純一	928,200	2.33%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	750,000	1.88%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	665,100	1.67%
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	651,136	1.63%
株式会社スリーホールディングス	468,000	1.17%

※発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、少数第3位を切り捨てて表示しております。

■ 所有者別株式分布状況

(発行済株式総数: 39,718,200株)

